

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料(医療法人錦病院)

| | |
|----------------|----------|
| 病院等の名称 | 医療法人 錦病院 |
| 見直しを行った機能 | 急性期 |
| H30許可病床数からの削減数 | 8床削減 |
| 変更予定年月日 | 令和3年3月 |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| 1 地域の状況 | | |
| 地域の現状と課題 | 岩国圏域の現状は回復期の病床が極端に少ない状況にあり、令和7年想定時点においても医師会病院が結果的に移行することになった急性期から回復期病床への移行以外には今のところ大きな変化はありません。域内には、高度急性期・急性期医療を担うDPC病院が2病院ありますが、病院までの移動に60分以上を要する地域があるのが現状です。課題として地域がら広島方面への医療従事者及び患者の流出、また患者状態により圏域内における機能の確保や広島圏域との連携体制の構築の必要性が挙げられます。 | |
| 2 自施設の状況 | | |
| 自施設の現状(変更前) | 訪問看護、居宅介護支援事業、訪問介護事業を併設し、地域に根差した身近なかかりつけ医療機関として、外科、消化器外科、内科等がん治療に至るまで幅広く総合的に対応しており、岩国市内における急性期医療機関としての役割を担っております。 | |
| 病床数の見直し | 見直しの考え方 | 地域に根差したかかりつけ医療の充実と、岩国市内における急性期医療機関としての役割を継続して行きつつではあるが、一方では医療従事者の確保の問題や、病床稼働の減少等により、病床を適正数に減床し、環境改善を見直していきたいと考えております。 |
| | 対象の病棟・病床の概要 | 許可病床数:48床、届出入院基本料:急性期一般入院基本料1、平均在院日数:8.4日、病床稼働率:63% |
| | 入院患者への対応 | 現状、病床稼働数としては47床ではありますが、ここ数年の平均病床数は37名前後のベッド数にて推移しており、特に他院への転院等の必要性はありません。 |
| 3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由 | | |
| 理由 | 岩国医療圏域における必要病床数において現状、急性期医療病床数が突出しており、この度の減床が圏域内における急性期医療病床の適正化に少しでも寄与できるものと考えます。 | |

【参考:H30病床機能報告(岩国保健医療圏の状況)】

| 病床区分 | | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟・廃止予定 | 介護保険施設移行予定 | 合計 |
|------------------|--------------|-------|-----|-------|-----|---------|------------|-------|
| 報告 | ①H30(2018)現状 | 264 | 626 | 216 | 772 | 9 | | 1,887 |
| | ②R7(2025)予定 | 264 | 577 | 216 | 712 | 49 | 69 | 1,887 |
| 構想 | ③R7(2025)必要数 | 131 | 419 | 446 | 505 | | | 1,501 |
| ④構想との差(H30)(①-③) | | 133 | 207 | △ 230 | 267 | | | 377 |
| ⑤構想との差(R7)(②-③) | | 133 | 158 | △ 230 | 207 | | | 268 |